

2021年5月第1回理事会議事録

日 時：2021年5月8日（土）14：00～17：00

場 所：オンライン会議

出 席：辻 秀人・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・大塚昌彦・岡林孝作・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・寺崎秀一郎・時枝 務・中嶋郁夫・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：佐古和枝・臼杵 勲

オブザーバー：矢島國雄（議案第634号）

進 行：宮里 修

議 長：辻 秀人

議事に先立ち、辻会長から、5月1日から事務局に主事として勤務している近藤絵里奈さんの紹介があった。

宮里理事から、本日の出席者は26名（うち理事24名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

議案第632号 退会会員の承認について

中嶋理事から、2021年1月理事会議案第612号で退会承認された熊本県の*会員から3月30日に退会届の取消の申し出を受け付けたとの説明があり、申し出が2020年度中だったことから、退会の取消は承認された。

続けて、大阪府の*会員、福岡県の*会員、熊本県の*会員、鹿児島県の*会員から2020年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第633号 2021年度新入会員について

中嶋理事から、正会員の入会資格審査の経過が説明され、資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2021年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数47名、うち1名は申込みを辞退し、1名が資格基準に該当せず、45名が内定者となった。また2021年度新入賛助会員の入会審査は、2020年12月理事会議案第605号で承認されたとおり、フレンドシップ会員3名、学生会員3名が内定となり、5月22日の第87回総会にて承認を受けるかたちとなったことが説明され、承認された。

議案第634号 アイヌ民族研究倫理に関わるパブリックコメントに寄せられた意見に対する回答（案）の承認について

佐藤副会長から、議案第635号と一括して説明があった。これまでの経緯として、「これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル」（以下、アイヌRT）に設置された「研究倫理検討委員会」準備委員会において協議してきた「アイ

又民族に関する研究倫理指針（案）」について、2019年12月末～2020年1月にパブリックコメントを募集したところ、多くの意見が寄せられたが、その回答案を作成中にコロナ禍になり協議が中断していた。2021年3月に協議を再開し、パブリックコメントの回答（案）を作成したとの説明があった。続けて、「研究倫理検討委員会」準備委員会に参加している、研究環境検討委員会内研究倫理部会の矢島國雄部会長から、意見に対する回答案が提示され、内容について説明があり、原案通り回答案は承認された。

議案第635号 アイヌ民族研究倫理に関わる研究倫理指針（案）の承認について

佐藤副会長から、議案第634号と一括して説明があり、本議案については、次の理事会で承認を得たいことから、各自での内容確認が求められ、審議については、次回の理事会で改めて実施することとした。

議案第636号 2020年度決算及び監査について

中山理事から、決算関係書類の提示があり、2020年度決算は、一般会計では新型コロナウイルス感染症の影響により、各委員会がオンライン開催となったことによる旅費交通費の支出の減少、総会の会場開催中止や大会中止に伴い外注費や印刷製本費の支出が抑えられたことから、2021年度への繰越額が例年より増額となったとの説明があった。続けて、特別会計2件の説明があり、①科学研究費補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響で旅費の支出がなく、英訳料や『Japanese Journal of Archaeology』サイトの作成に使用したが、一部返還となったこと、②平成28年熊本地震募金については、委員会活動の終了にあたり活動報告書の印刷に全額を使用し残額無しとなったことが説明された。

続けて都築監事から、コロナ禍の中でも各理事の努力によりオンラインの使用等で事業が実施できたとの説明があり、5月7日（金）に監査を実施し、2020年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。

審議の結果、2020年度決算及び監査報告については原案通り承認された。

議案第637号 2020年12月理事会議事録報告文の一部訂正について

馬淵理事から、2020年12月理事会議事録報告第798号「6 埋蔵文化財保護対策委員会報告」の「④鳥取県米子市百塚88号墳の開発に伴う発掘調査について、手続き的に瑕疵が認められるものの既に調査が進捗していることから対外的な対応は行わないが引き続き注視していく。」について、認識が誤っていたことから、「手続き的に瑕疵が認められるもの」を削除する訂正を行いたいとの説明があり、原案通り承認された。また、事務局据え置きの方針の当該議事録の修正、及び次号『会報』に『会報』No.202の掲載箇所の正誤表を掲載することで対応することが併せて承認された。

報告第818号 会員の会員資格の喪失について

萩野谷理事から、2018年度～2020年度会費30,000円の滞納により下記の4名が、定款第11条第1項1号に則り会員資格を喪失したとの報告があり、了承された。なお、滞納会費の督促については継続する。

（神奈川県）、（京都府）、*（兵庫県）、*（兵庫県）

報告第819号 2021年度第87回総会の全体進行について

滝沢理事から、2021年度第87回総会については、神奈川県では新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の適用中であるが、予定通り専修大学を会場として開催予定であることが説明され、「総会実施要項」に基づき、日程並びに役割分担等、進行の確認があった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会場に出席が叶わなくなった場合には、特に定時総会での説明・報告担当者においては、通信トラブルを防ぐためにも会場出席の交代の報告者を探して速やかに連絡をいただきたいとの説明があり、了承された。

報告第820号 2021年度第87回総会の開催に関わるワーキンググループの報告

田尻理事から、4月8日（木）に2021年度第87回総会の開催に関わるワーキンググループを開催し、オンラインシステム委託業者であるトーヨー企画と、今後の作業工程や第87回総会特設サイトの公開期間、使用するZoomライセンスの確認等の打合せを行った。また、4月9日（金）に専修大学で会場設営及び配信システムの確認を行うとともにワーキンググループを開催し、ライブ配信発表のオンデマンド公開の提案については、法的・技術的に検討課題が多いため継続審議とし、これまでと同様に、発表データ公開の希望があればホームページに掲載することとしたとの報告があった。オンラインでの参加者の発言についての確認があり、定時総会は参加者とは見なさず、視聴のみで発言は認めないこと、研究発表会は質問はチャットを使用する予定であることの説明があり、了承された。

報告第821号 高輪築堤跡に関わる会長コメントの発出とその後の状況報告

社会長から、高輪築堤跡の全面保存についての会長声明発出後、4街区の調査成果が公表され一部移築・記録保存の方針が示されたため、コメントの動画を撮影して公式サイトにアップしたとの報告があった。続けて、埋蔵文化財保護対策委員会の馬淵理事から、現在の高輪築堤跡をめぐる状況について補足説明があり、了承された。

報告第822号 高輪築堤保存会の要望について

社会長から、高輪築堤を保存する会から高輪築堤の保存に関する要望書が届いたとの説明があり、取り扱いについては埋蔵文化財保護対策委員会に一任することで了承された。

報告第823号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その1）

1 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、4月25日（日）に委員会をオンラインで開催し、①研究倫理部会の矢島部会長及び臼杵理事から、アイヌ民族研究倫理に関わるパブリックコメントの説明があり、協議の結果、パブリックコメントへの回答案については研究倫理部会で作成し、情報や問題意識を委員会全体で確認・共有することとした。②4月18日（日）に埋蔵文化財保護対策委員会と合同で博物館法改正に関する勉強会を開催し、委員5名とともに、会長・両副会長・埋文委員9名が参加した。③2021年度第87回総会におけるセッション・ポスターセッションの実施方法や内容等について協議した。セッションについてはチラシを作成して高校・大学等に発送を行う予定である。④逝去された今福委員の後任委員について検討し

たとの報告があり、了承された。

2 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告

足立理事から、4月17日（土）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡の保存問題について現在の状況を確認し、会長コメントの発出を行う等、今後の対応について協議した。②島根県出雲市旧海軍大社基地に開発計画があることから、調査・保存・整備・活用を求める要望書を提出することとなった。③神奈川県横浜市稲荷前古墳群隣接地に開発計画があり、周知の遺跡範囲に含まれておらず調査予定がないことから、適切な取り扱いを求める要望書あるいは質問書を提出することとした。④安芸市瓜尻遺跡について、面談結果及び要望書に対する回答の報告があり、調査の進展等を見ながら引き続き注視していく。⑤例年、総会前日に実施している全国委員会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により会場で実施できないことから、5月29日（土）にオンラインで開催することとなったとの報告があり、了承された。

3 広報委員会の報告

谷口理事から、4月23日（金）に委員会をオンラインで開催し、①高輪築堤跡の保存に関する会長コメントをホームページで動画配信し、併せてプレスリリースを行った。なお、今後、高輪築堤跡の保存問題について早稲田大学の谷川章雄教授の講演会・質疑応答を行い、YouTubeを使用してホームページ上で公開することを計画中である。②総会時に図書交換会が実施できない代替として協会ホームページ上で実施する「考古学スクエア・春」について、呼びかけ文や実施期間の検討を行った。③『会報』に会員から投稿があり協議の結果、次号会報に掲載することとした。なお、『会報』への投稿規定がないことから整備の検討を行うこととなったとの報告があり、了承された。

報告第824号 2021年度第87回総会における口頭説明の原稿について

第87回総会議事における各説明担当理事から、それぞれ説明原稿が提示されるとともに概要説明があり、確認の結果、一部については修正が指摘された。

報告第825号 2021年度大会（金沢大会）の概要について

河村理事から、金沢大会の進捗状況については、各行事における対面開催の実施範囲について検討中であり、ポスターセッションは協会ホームページにポスターデータを掲載予定であるとの説明があり、了承された。

その他

1 高校生ポスターセッションの記念品について

河村理事から、第87回総会における高校生ポスターセッション記念品として、参加件数分の書籍の寄贈が各理事に求められた。また、高校生ポスターセッションの審査については、今年はオンライン上での開催のため審査を事前にオンラインで行うとの方法及び日程について説明があった。

2 「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」 の参加団体について

辻会長から、「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」への参加・賛同の呼びかけについて、現在の回答状況の報告があった。

3 会員名簿について

辻会長から、会員名簿の作成について、第87回総会後にホームページに掲載した上で、8月会報に掲載したいとの報告があった。

以 上